

ラクト・ジャパン | 3139 |

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイト (<http://www.sharedresearch.jp>) をご覧ください。



2022年7月13日、株式会社ラクト・ジャパンは、2022年11月期第2四半期決算を発表した。

(決算短信へのリンクは[こちら](#)、決算説明補足資料へのリンクは[こちら](#))

		業績推移											
		売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	ROA (%)	ROE (%)
FY11/14	連結	96,550	27.1%	1,532	118.8%	1,653	-1.0%	988	-1.9%	127.79	1,165.58	4.5%	12.2%
FY11/15	連結	98,001	1.5%	720	-53.0%	1,343	-18.8%	831	-15.9%	98.94	1,062.54	3.3%	8.5%
FY11/16	連結	88,679	-9.5%	3,349	365.1%	1,434	6.8%	946	13.8%	96.79	1,167.72	3.7%	8.7%
FY11/17	連結	101,335	14.3%	1,924	-42.6%	2,523	75.9%	1,755	85.5%	179.48	1,302.98	6.0%	14.5%
FY11/18	連結	115,441	13.9%	3,009	56.4%	2,613	3.6%	1,784	1.7%	182.31	1,462.35	5.5%	13.2%
FY11/19	連結	116,794	1.2%	3,144	4.5%	2,747	5.1%	1,963	10.0%	200.11	1,618.31	5.7%	13.0%
FY11/20	連結	110,838	-5.1%	2,959	-5.9%	2,781	1.2%	2,062	5.1%	209.47	1,774.58	6.1%	12.3%
FY11/21	連結	110,884	0.0%	2,787	-5.8%	2,682	-3.6%	1,959	-5.0%	198.73	1,978.42	5.6%	0.11
FY11/22	連結会予	140,000	26.3%	-	-	3,100	15.6%	2,250	14.8%	227.94	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表数値は百万円未満切り捨て）

2022年11月期第2四半期（2021年12月～2022年5月）実績

概要

2022年11月期第2四半期の連結実績は、売上高69,788百万円（前年同期比32.6%増）、営業利益1,868百万円（同22.0%増）、経常利益1,665百万円（同17.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,207百万円（同19.4%増）となった。

2022年7月5日付で上方修正した2022年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高49.8%（2021年11月期実績に対する前年同期実績の進捗率47.5%）、経常利益53.7%（同52.7%）、当期純利益53.7%（同51.6%）となった。

事業環境

海外の食品・食材市場においては、多くの国が感染症対策と経済活動の両立に向けて行動制限や外国人の入国制限を緩和し、外食需要が回復基調となった。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢を背景としたエネルギー価格や農産物価格の高騰により、世界中でインフレ懸念が高まり、先行き不透明な状況となった。

国内では、2022年11月期第1四半期（2021年12月～2022年2月）は新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大の影響があったものの、当第2四半期（2022年3月～5月）には、感染状況の落ち着きとともに、行動制限が緩和された。経済活動が再開し、外食・レジャー向け業務用食材の需要が戻り基調となった。

乳製品市場においても、家庭内消費が堅調であることに加え、業務用需要が徐々に戻りつつある。乳原料については、需要は回復基調となったものの、国内の生乳生産が順調であったことから、国産の脱脂粉乳在庫は引き続き高水準で推移した。独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）による輸入乳製品の入札は、引き続き低水準に留まった。輸入乳製品原料については、世界中で需要が回復する一方で、主要産地の天候不良に起因する生乳生産量の減少や、エネルギー・飼料価格の高騰を背景に国際相場が上昇し、急速な円安の進行により、国産原料との価格差は縮小した。そのため、輸入調製品の一部が国産脱脂粉乳に置き換わる動きもあった。

増収の要因

前述のような事業環境の下、同社は調達ネットワークを最大限に活用して原料の安定調達に努めるとともに、顧客の調達コスト高を緩和すべく、ニーズに合わせた商品の提案に注力した。国内の乳原料販売については、輸入食品に加えて、国産乳製品在庫の削減事業に参画して国産品の販売にも積極的に取り組んだ。その結果、主力事業を中心にグループ全体の販売数量が増加したことに加え、取扱製品の国際市況高騰を背景とした販売単価の上昇と円安の進行により、売上高は32.6%増となった。

アジアでは、中国・上海エリアのロックダウンの影響により、中国向けの販売が前年同期比で減少したものの、東南アジア地域では新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに経済活動が活発化し、行動制限の緩和やインバウンドの受入再開などにより、乳製品の販売も順調に推移した。また、当第2四半期には乳製品在庫調整特別対策事業による日本から輸出された日本産脱脂粉乳の販売も加わり、乳原料販売部門の販売数量が増加した。

営業利益は同22.0%増益

売上原価は前年同期比33.6%増加し、売上総利益率は同0.7%ポイント低下して5.7%となったものの、金額では同17.2%増加した。営業利益は金額では22.0%増加し、営業利益率は同0.2ポイント低下して2.7%となった。国内の乳原料・チーズ部門において、一部取引で船積スケジュールの遅延により輸送手段を船便から航空便への変更したこと、さらにアジア・チーズ製造部門において、使用する原材料価格が上昇したことなどが、利益率低下の要因である。

経常利益は同17.9%増益

前年同期は0.3百万円の為替差益を計上したが、当第2四半期は為替差損が54百万円となった。尚、当第2四半期の経常利益には為替のマイナス影響が41百万円含まれており、その影響を補正した調整後経常利益は1,707百万円となる。同じベースで補正した前年同期の調整後経常利益1,472百万円と比べて、調整後ベースでは前年同期比16.0%の経常増益であった。

* 同社では、営業取引において為替リスクを回避するため、外貨仕入額に関して基本的に仕入契約締結時に為替予約を行っている。一方、会計処理における仕入計上は、仕入契約を締結してから一定期間経過した後の船積時に行われる。円高が進行している場合には、仕入計上時に使用する為替レートが予約レートを下回る（円高）ことになる。売上時に認識される売上総利益は、仕入計上レートを使用した売上原価をもとに算出されるため、この時点の売上原価は、円高の影響により仕入契約締結時に定めた原価よりも低くなる。一方、このような場合には、為替ヘッジの効果として、営業外収益に為替差損が計上される。

部門別

乳原料・チーズ部門：売上高47,202百万円（前年同期比27.7%増）・販売数量96,454トン（同4.8%増）

乳原料販売においては、外食・レジャー産業等の回復とともに、販売数量も底堅く推移した。一方、北海道を中心に生乳生産量は好調だったことから、2022年4月には国産脱脂粉乳の在庫が史上最多となる10万トンに達し、ALICによる輸入乳製品の入札は低水準であった。さらに、国際相場の上昇や円安の進行により輸入原料と国産原料の価格差が縮小したことから、輸入調製品の一部では国産原料への置き換えが進んだ。同社は対策事業にも積極的に参画し、国産脱脂粉乳を輸入調製品の代替原料や飼料原料として販売を進めたほか、アジア地域への販売にも取り組んだ輸入原料の販売では飲料メーカー向けが伸びたほか、大手乳業メーカー向けにも国産在庫の影響を受けない一部商品の販売が回復した。

チーズ事業は、業務用需要の回復を受けて好調であった。チーズは脱脂粉乳やバターとは異なり、国産乳製品の余剰在庫の影響が少なく、輸入原料の調達ニーズが加速した。一方で、船積スケジュールの遅延が続いたため、早期

の納品を求めた食品メーカーなどからの引き合いが増加した。同社は顧客からの要望に応え、タイムリーな原料供給を行ったことで、販売数量・売上ともに伸長した。

食肉食材部門：売上高7,221百万円（前年同期比6.7%増）・販売数量12,096トン（同3.7%減）

食肉食材部門の販売は、主力商品であるチルドポークの販売が、量販店向けを中心に堅調に推移した。当第2四半期には行動制限の緩和により外食など業務用需要が増加し、ベーコンや生ハム、サラミなど食肉加工品の販売が回復傾向となった。一方でフローズンポークや、ハム・ソーセージなどの原料となる加工食材については、伸び悩んだ。主要産地である米国の生産工場において、コロナ禍からの回復による米国内の需要が急増する中で、労働者不足が続いている。長年良好な関係を継続する米国のメインの取引先でも状況は同じであり、ユーザーのニーズに対応した細かな加工が必要な日本向け商品の生産が遅れ、予定していた仕入れ量を確保することができず、販売数量は前年同期を下回った。

アジア事業その他：15,364百万円（前年同期比72.1%増）

当第2四半期にはアジア地域においても行動制限の緩和やインバウンドの受入が再開され、乳製品の需要は回復傾向となった。

乳原料販売部門（商社）：売上高12,279百万円（同80.3%増）・販売数量26,549トン（同17.0%増）

乳原料販売部門の販売は、アジア地域向けの販売は現地向け（現地の食品メーカー、アジアで事業展開する日系企業）に順調に推移した。業務用需要の回復により日本向け乳調製品の原料販売が増加したことや、対策事業における日本産脱脂粉乳の販売も順調に進むなど、当部門の販売数量は前年同期比17.0%増加した。また、乳製品の国際相場の上昇を背景に販売単価が上昇したことに加え、円安が進行したことで80.3%の増収となった。

チーズ製造販売部門（メーカー）：売上高1,827百万円（前年同期比8.2%増）・販売数量2,336トン（同0.1%増）

中国・上海エリアにおけるロックダウンの影響により、中国向けの販売は減少した。コロナ禍からの経済回復が順調であったシンガポールやマレーシアでは、外食向けなど業務用製品の販売が堅調に推移した。なお、当部門において2021年12月から進めていた、原材料の高騰による販売価格の改定は概ね順調に進捗し、2022年4月以降に商品の値上げを実施したことや円安の進行により、8.2%増収となった。

その他の事業として2020年11月期から開始し、新たな成長事業として注力している機能性食品原料販売は順調に進捗した。主要商品である、乳由来のホエイプロテイン原料の販売が、スポーツニュートリション業界向けを中心に伸長している。コロナ禍以降、健康ブームの広がりによりホエイプロテイン原料へのニーズは高く、既存の顧客に加えて新規顧客からの引き合いも増え、取引が拡大した。今後も同社は、乳製品の輸入事業で長年取引のある主要サプライヤーからホエイプロテインの調達を増やすとともに、その他の機能性食品原料も含めた複合的な提案営業を進め、市場開拓とシェア拡大を目指す、としている。

2022年11月期通期会社予想

2022年11月期通期連結業績予想の修正

- 売上高：140,000百万円（前年比26.3%増、前回予想126,000百万円）
- 経常利益：3,100百万円（同15.6%増、同2,900百万円）
- 当期純利益：2,250百万円（同14.8%増、同2,100百万円）
- 1株当たり当期純利益：227.94円（前期実績198.73円、同212.95円）
- 1株当たり配当金：37.00円（同32.00円、同37.00円）

2022年11月期上半期の業績に加えて、下期においても乳製品および食肉加工品の国際市況の高止まりや円安の継続を同社は予想し、食品全般においても業務用を中心に需要が回復すると見込み、同社は通期連結業績予想を2022年7月5日付で上方修正した。

当面の事業環境についての同社の見方

- ▶ 乳原料・チーズ部門：国産の脱脂粉乳在庫は、生乳生産量が好調に推移したため、引き続き余剰状態が継続している。同社は在庫削減への貢献も目指し、国産脱脂粉乳の販売に引き続き注力する計画。海外の主要産地の生乳生産は低調で、飼料やエネルギー価格の上昇が酪農コストを圧迫しており、生産量の大幅な回復は見込めない、としている。一方、新型コロナウイルスとの共存・共生を目指す政策により、欧米諸国の需要は回復傾向にあるため、乳製品の国際相場は当面高止まりを予想している。乳製品相場の高騰や物流遅延が続く中、多様な供給源や乳製品をフルラインナップで取り扱う同社の強みを発揮しやすい環境にあるとみている。
- ▶ 食肉食材部門：豚肉・牛肉とも食肉加工工場の供給力低下と、それに伴う国際価格の上昇が懸念材料である。また、船積スケジュールの遅延は、当面継続すると見込んでいる。牛肉やはちみつなど、新商品の販売については新規販売先の開拓が順調に進んでいるものの、輸入価格の上昇、円安、商品確保がボトルネックになるという懸念もある。
- ▶ アジア事業（乳原料販売部門）：日本向けの乳調製品用の原料販売については、当面の間軟調を見込む。日本の脱脂粉乳在庫削減を企図した日本産乳製品の販売は、下期も寄与すると同社は見込んでいる。
- ▶ アジア事業（チーズ製造販売部門）：中国におけるロックダウン解除後の中国向け販売は引き合いも増加しており、回復を期待している。今後も原材料やエネルギー価格の上昇継続が見込まれることから、販売先との価格交渉を継続する。市場ニーズに対応する新商品の開発が進行中。今期は植物由来原料を使った「ヴィーガンチーズ」の販売開始を予定している。

財政状況について

- ▶ 流動資産は前期末より8,579百万円増加し、58,597百万円となった。主な要因は、商品および製品が4,224百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が1,248百万円増加したことによる。
- ▶ 固定資産は前期末より100百万円減少し、2,781百万円となった。これは主に、投資その他の資産が166百万円減少したためである。
- ▶ 流動負債の残高は前期末より5,356百万円増加し、32,881百万円となった。買掛金が2,383百万円増加したことと、運転資金の増加に伴いコマーシャルペーパーが1,000百万円、短期借入金が1,438百万円増加したことが主因。固定負債は主に長期借入金が740百万円増加し、前期末より779百万円増加して6,575百万円となった。

- ▶ 純資産は、利益剰余金が891百万円増加したこと、繰延ヘッジ損益が759百万円増加したこと、為替換算調整勘定が656百万円増加したことを主因に、前期末と比べ2,343百万円増の21,922百万円となった。

四半期（累積）業績動向

四半期累計 (百万円)	20年11月期				21年11月期				22年11月期		22年11月期	
	1Q 連結	1-2Q 連結	1-3Q 連結	1-4Q 連結	1Q 連結	1-2Q 連結	1-3Q 連結	1-4Q 連結	1Q 連結	1-2Q 連結	進捗率	会予
売上高	28,222	57,912	85,065	110,838	23,994	52,648	79,630	110,884	31,755	69,788	49.8%	140,000
前年同期比	1.2%	0.3%	-2.8%	-5.1%	-15.0%	-9.1%	-6.4%	0.0%	32.3%	32.6%		26.3%
乳原料・チーズ部門	20,061	39,927	59,925	78,330	17,090	36,952	54,996	76,481	22,024	47,202	48.6%	97,200
前年同期比	-5.0%	-6.4%	-7.5%	-8.1%	-14.8%	-7.5%	-8.2%	-2.4%	28.9%	27.7%		27.1%
構成比	71.1%	68.9%	70.4%	70.7%	71.2%	70.2%	69.1%	69.0%	69.4%	67.6%		
食肉食材部門	2,900	6,107	8,781	11,895	3,116	6,769	10,380	14,278	3,530	7,221	52.7%	13,700
前年同期比	-1.4%	0.0%	-5.5%	-3.1%	7.4%	10.8%	18.2%	20.0%	13.3%	6.7%		-4.0%
構成比	10.3%	10.5%	10.3%	10.7%	13.0%	12.9%	13.0%	12.9%	11.1%	10.3%		9.8%
アジア事業(乳原料販売)	4,411	10,138	13,752	17,025	2,829	6,809	11,111	15,754	4,783	12,279	53.4%	23,000
前年同期比	47.4%	38.8%	24.9%	6.2%	-35.9%	-32.8%	-19.2%	-7.5%	69.1%	80.3%		46.0%
構成比	15.6%	17.5%	16.2%	15.4%	11.8%	12.9%	14.0%	14.2%	15.1%	17.6%		16.4%
アジア事他(チーズ製造販売)	680	1,352	2,036	2,895	801	1,689	2,428	3,324	935	1,827	45.7%	4,000
前年同期比	3.3%	5.3%	3.7%	9.2%	17.9%	24.9%	19.3%	14.8%	16.7%	8.2%		20.3%
構成比	2.4%	2.3%	2.4%	2.6%	3.3%	3.2%	3.0%	3.0%	2.9%	2.6%		2.9%
その他	168	386	570	691	156	428	712	1,044	481	1,258	59.9%	2,100
前年同期比	-8.7%	11.9%	20.5%	9.7%	-7.1%	10.9%	24.9%	51.1%	208.3%	193.9%		101.1%
構成比	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%	1.5%	1.8%		1.5%
<販売数量>												
乳原料・チーズ部門(トン)	49,413	98,294	145,534	191,575	43,141	91,993	135,032	184,358	46,731	96,454	48.4%	199,200
前年同期比	-0.7%	-1.8%	-4.9%	-6.1%	-12.7%	-6.4%	-7.2%	-3.8%	8.3%	4.8%		8.1%
食肉食材部門(トン)	5,220	11,453	16,143	21,925	5,736	12,567	19,013	25,699	6,004	12,096	48.8%	24,800
前年同期比	4.7%	9.0%	-1.1%	1.8%	9.9%	9.7%	17.8%	17.2%	4.7%	-3.7%		-3.7%
アジア事業(乳原料販売)(トン)	14,676	34,921	48,281	60,159	9,918	22,690	34,546	47,817	11,397	26,549	50.1%	53,000
前年同期比	29.9%	25.2%	15.7%	0.4%	-32.4%	-35.0%	-28.4%	-20.5%	14.9%	17.0%		10.8%
アジア事業(チーズ製造販売)(トン)	1,014	1,983	2,949	4,197	1,120	2,334	3,355	4,635	1,253	2,336	46.7%	5,000
前年同期比	16.0%	9.9%	7.9%	12.3%	10.5%	17.7%	13.8%	10.4%	11.9%	0.1%		7.9%
<単価>												
乳原料・チーズ部門(円/kg)	406	406	412	409	396	402	407	415	471	489		
前年同期比	-4.3%	-4.7%	-2.8%	-2.1%	-2.4%	-1.1%	-1.1%	1.5%	19.0%	21.8%		
食肉食材部門(円/kg)	556	533	544	543	543	539	546	556	588	597		
前年同期比	-5.8%	-8.2%	-4.5%	-4.9%	-2.2%	1.0%	0.4%	2.4%	8.2%	10.8%		
アジア事業(乳原料販売)(円/kg)	301	290	285	283	285	300	322	329	420	463		
前年同期比	13.5%	10.9%	8.0%	5.8%	-5.1%	3.4%	12.9%	16.4%	47.1%	54.1%		
アジア事業(チーズ製造販売)(円/kg)	671	682	690	690	715	724	724	717	746	782		
前年同期比	-10.9%	-4.2%	-3.9%	-2.8%	6.6%	6.1%	4.8%	4.0%	4.3%	8.1%		
売上原価	26,535	54,505	79,981	104,211	22,316	49,274	74,599	104,243	30,033	65,832		
前年同期比	0.8%	0.3%	-2.9%	-5.3%	-15.9%	-9.6%	-6.7%	0.0%	34.6%	33.6%		
原価率	94.0%	94.1%	94.0%	94.0%	93.0%	93.6%	93.7%	94.0%	94.6%	94.3%		
売上総利益	1,686	3,407	5,084	6,626	1,678	3,375	5,032	6,641	1,722	3,956		
前年同期比	7.6%	1.2%	-1.3%	-2.6%	-0.5%	-1.0%	-1.0%	0.2%	2.6%	17.2%		
利益率	6.0%	5.9%	6.0%	6.0%	7.0%	6.4%	6.3%	6.0%	5.4%	5.7%		
販管費	922	1,826	2,709	3,667	865	1,844	2,786	3,854	982	2,088		
前年同期比	10.9%	3.9%	1.8%	0.3%	-6.2%	1.0%	2.9%	5.1%	13.5%	13.2%		
売上高販管費率	3.3%	3.2%	3.2%	3.3%	3.6%	3.5%	3.5%	3.5%	3.1%	3.0%		
営業利益	764	1,581	2,375	2,959	813	1,530	2,245	2,787	740	1,868		
前年同期比	3.8%	-1.7%	-4.6%	-5.9%	6.4%	-3.2%	-5.5%	-5.8%	-9.0%	22.0%		
利益率	2.7%	2.7%	2.8%	2.7%	3.4%	2.9%	2.8%	2.5%	2.3%	2.7%		
為替差損益	15	-39	-21	3	50	0	123	81	7	0		
前年同期比	-	-	-	-	224.7%	-	-	2,325.6%	-86.2%	-		
売上高比率	0.1%	-0.1%	-0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%		
営業利益 + 為替差損益	780	1,542	2,354	2,962	863	1,531	2,369	2,868	747	1,868		
前年同期比	25.7%	8.4%	2.2%	-2.2%	10.7%	-0.8%	0.6%	-3.2%	-13.5%	22.0%		
利益率	2.8%	2.7%	2.8%	2.7%	3.6%	2.9%	3.0%	2.6%	2.4%	2.7%		
経常利益	753	1,434	2,209	2,781	737	1,412	2,213	2,682	719	1,665	53.7%	3,100
前年同期比	40.6%	14.5%	5.8%	1.2%	-2.1%	-1.5%	0.2%	-3.6%	-2.5%	17.9%		15.6%
利益率	2.7%	2.5%	2.6%	2.5%	3.1%	2.7%	2.8%	2.4%	2.3%	2.4%		2.2%
四半期純利益	546	1,040	1,608	2,062	527	1,011	1,601	1,959	524	1,207	53.7%	2,250
前年同期比	45.3%	17.2%	7.9%	5.1%	-3.4%	-2.8%	-0.4%	-5.0%	-0.6%	19.4%		14.8%
利益率	1.9%	1.8%	1.9%	1.9%	2.2%	1.9%	2.0%	1.8%	1.6%	1.7%		1.6%
為替レート												
円/米ドル	109.53	108.55	107.97	107.27	104.30	106.65	107.80	108.97	114.65	119.55		
円/ユーロ	120.87	119.33	120.52	121.40	126.62	128.73	129.43	129.68	129.77	132.11		

出所：同社データを基にSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表値は百万円未満切り捨て）

四半期業績動向（3か月）

四半期（3か月） （百万円）	20年11月期				21年11月期				22年11月期	
	1Q 連結	2Q 連結	3Q 連結	4Q 連結	1Q 連結	2Q 連結	3Q 連結	4Q 連結	1Q 連結	2Q 連結
売上高	28,222	29,690	27,153	25,773	23,994	28,654	26,982	31,253	31,755	38,033
前年同期比	1.2%	-0.5%	-9.0%	-11.9%	-15.0%	-3.5%	-0.6%	21.3%	32.3%	32.7%
売上原価	26,535	27,969	25,476	24,231	22,316	26,957	25,325	29,644	30,033	35,799
前年同期比	0.8%	-0.2%	-9.1%	-12.2%	-15.9%	-3.6%	-0.6%	22.3%	34.6%	32.8%
原価率	94.0%	94.2%	93.8%	94.0%	93.0%	94.1%	93.9%	94.9%	94.6%	94.1%
売上総利益	1,686	1,721	1,677	1,542	1,678	1,697	1,657	1,609	1,722	2,234
前年同期比	7.6%	-4.3%	-6.0%	-6.6%	-0.5%	-1.4%	-1.2%	4.3%	2.6%	31.6%
利益率	6.0%	5.8%	6.2%	6.0%	7.0%	5.9%	6.1%	5.1%	5.4%	5.9%
販管費	922	904	883	958	865	979	942	1,067	982	1,106
前年同期比	10.9%	-2.4%	-2.2%	-3.8%	-6.2%	8.3%	6.7%	11.4%	13.5%	13.0%
売上高販管费率	3.3%	3.0%	3.3%	3.7%	3.6%	3.4%	3.5%	3.4%	3.1%	2.9%
営業利益	764	817	794	584	813	717	715	542	740	1,127
前年同期比	3.8%	-6.3%	-10.0%	-10.8%	6.4%	-12.2%	-9.9%	-7.2%	-9.0%	57.1%
利益率	2.7%	2.8%	2.9%	2.3%	3.4%	2.5%	2.6%	1.7%	2.3%	3.0%
為替差損益	15.5	-54	18	24	50.3	-50	123	-43	7.0	-7
前年同期比	-	-	-	-66.5%	224.7%	-	580.0%	-	-86.2%	-
売上高比率	0.1%	-0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	-0.2%	0.5%	-0.1%	0.0%	-0.0%
営業利益+為替差損益	780	762	812	608	863	667	838	499	747	1,120
前年同期比	25.7%	-5.0%	-7.8%	-16.3%	10.7%	-12.5%	3.3%	-18.0%	-13.5%	67.9%
利益率	2.8%	2.6%	3.0%	2.4%	3.6%	2.3%	3.1%	1.6%	2.4%	2.9%
経常利益	753	680	775	572	737	675	801	469	719	947
前年同期比	40.6%	-5.1%	-7.1%	-13.3%	-2.1%	-0.8%	3.3%	-18.1%	-2.5%	40.2%
利益率	2.7%	2.3%	2.9%	2.2%	3.1%	2.4%	3.0%	1.5%	2.3%	2.5%
当期純利益	546	495	567	455	527	484	590	358	524	684
前年同期比	45.3%	-3.4%	-5.9%	-3.9%	-3.4%	-2.2%	4.0%	-21.2%	-0.6%	41.3%
利益率	1.9%	1.7%	2.1%	1.8%	2.2%	1.7%	2.2%	1.1%	1.6%	1.8%

出所：同社データを基にSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表値は百万円未満切り捨て）

掲載企業の[詳細レポート](#)もご覧ください。

株式会社シェアードリサーチについて

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレームー

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものでもありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

株式会社シェアードリサーチの役員および従業員、ならびにその関連会社および関係者は、本調査レポートで対象とされている企業の発行する有価証券に関して取引を行っており、または将来行う可能性があります。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.

東京都文京区千駄木3-31-12

<http://www.sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787 / Email: info@sharedresearch.jp